

<参考>

1. 会議の概要

(1) 会議名称

日本語：IPBES（＊）総会に向けた非公式国際科学ワークショップ

英語：An Informal Pre-Plenary Scientific International Workshop on Assessment and the IPBES

*IPBES：生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services)

(2) 主催者等

主催：環境省、国連大学、南アフリカ共和国

協力：国連環境計画 (UNEP)

(3) 開催期間

平成23年7月25日（月）から27日（水）

(4) 開催場所

国連大学 エリザベス・ローズ・ホール（東京都渋谷区青山）

(5) 参加者等

①共同議長：武内副学長（国連大学）、

Albert van Jaarsveld氏（南アフリカ国立研究財団）

②参加者：海外専門家27名及び国内研究者11名

2. 経緯

IPBESは、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する役割が期待されている。IPBESは生物多様性版のIPCCと呼ばれることもあり、現在、政府間のプラットフォームとしての設立に向けて検討が進められている。本年10月及び来年の前半に、UNEPの主催によりIPBESに関する総会が開催される予定。

IPBESは、知見生成・科学的評価・政策立案支援・能力開発の4つを活動の柱としており、本ワークショップは、このうち、生物多様性と生態系サービスに関する科学的評価の重要な要素やオプションをとりまとめることを目的としている。

なお、IPBES総会に向けて、それぞれの活動に関連する専門家会合が以下の通り開催されている。

(1) 能力開発に関するワークショップ（本年5月、於ノルウェー）：ノルウェー及びブラジル主催

(2) 知見生成に関するワークショップ（本年6月、於フランス）：国際科学会議 (ICSU) 主催